

**製品名: ユビキチンウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02738**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.55mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 26 kDa; Observed MW: 8 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	UBB
別名	FLJ25987; MGC8385; ubiquitin B; Ubiquitin; UBCEP1; UBCEP2; RPS27A
遺伝子 ID	7314
SwissProt ID	P0CG47
免疫原	ヒトユビキチンの合成ペプチド

**背景**

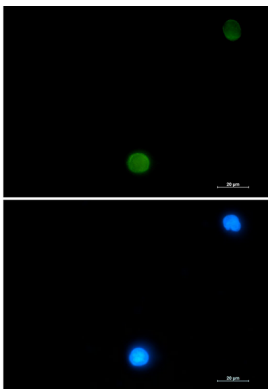
ユビキチン-プロテアソーム経路において重要な役割を果たします。ユビキチンは、ユビキチン化プロセスによって多くの細胞タンパ

ク質と共有結合し、26S プロテアソームによる分解の標的タンパク質となります。標的タンパク質とユビキチンの結合プロセスには、3つの要素が関与しています。ユビキチンはまず活性化要素 E1 とチオールエステル複合体を形成することで活性化されます。活性化されたユビキチンは次にユビキチンキャリアタンパク質 E2 に転移し、E2 からユビキチンリガーゼ E3 へと運ばれ、最終的に標的タンパク質のリジン残基のイプシロン NH2 へと輸送されます。

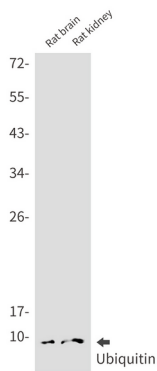
## 研究分野

神経科学

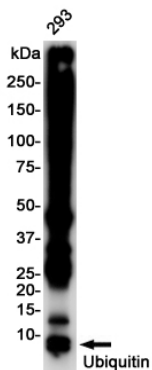
## 画像データ



ユビキチン抗体と DAPI (青) を使用した CEM 内のユビキチン (緑) の免疫細胞化学分析。



ユビキチン抗体を使用したラット脳、ラット腎臓溶解物中のユビキチンのウエスタンブロット分析。



ユビキチン抗体を用いた 293 の溶解液中のユビキチンのウエスタンブロット分析